

平成15年2月14日

東急不動産、日立製作所、地元NPO法人による地域コミュニティーサイトの構築
日本初のインターネットコミュニティータウンへ
「ライフサポートシステム」を導入

郊外大規模ニュータウン「あすみが丘」と「あすみが丘東」に

東急不動産株式会社
株式会社日立製作所

東急不動産(株)(所在:東京都渋谷区、社長:植木正威)は(株)日立製作所(所在:東京都千代田区社長:庄山悦彦)と組み、ITを利用した地域コミュニティの形成や活性化を支援していく情報システムインフラ「ライフサポートシステム」を開発、新しいスタイルのインターネットインフラを活用したコミュニティータウンとして運用を開始いたします。

「ライフサポートシステム」は、様々な地域情報をインターネットを通じて集約し情報の流通を促進させることで地域コミュニティに暮らす人々の生活をより豊かなものにしていくことを目的に開発、システム改善を行うことを予定しています。なお、システム面の対応は日立製作所が行います。

また、本コミュニティータウンにおいて東急不動産が今後建売分譲する住居については、無線LAN対応のタッチパネル端末を標準装備し、「ライフサポートシステム」の活用を促進するHOME端末として活用します。日立製作所が本端末の供給・活用の支援を行い、新たな情報機器としての可能性を模索していきます。

まずは、東急不動産が街づくりを進める「あすみが丘エリア」(別紙参照)を試行の場として、当地域住民を対象にシステムを導入、本年3月にサイトを開設4月の本稼働を予定しています。

「ライフサポートシステム」の運営にあたっては、地元NPO法人が中心となり、地域コミュニティの情報インフラとして日常生活への浸透を促進し、住民間の情報交流を通じて暮らしやコミュニティ活動を育てていく自立型コミュニティ形成を支援していきます。

また、このように大規模住宅団地を対象に、地元のNPO法人が現地運営者として地域情報サイトを運営していくのは全国でも初めての試みとなります。

【ライフサポートシステムの概要】

「ライフサポートシステム」では、以下のサービス機能を提供していきます。尚、ご利用にはインターネット上の登録画面にて会員登録手続が必要となります。

- | | |
|---------------|--|
| 「くらしの素」: | その日の予定=「今日の予定」や最新の地域情報=「新着情報」などを、参加団体が掲載情報を更新した都度、各家庭毎の優先度に従い、自動的に提供されます。 |
| 「私と家族の部屋」: | 授業参観日、家族の各種記念日やゴミ収集日など日常生活上のカレンダーとして利用できます。事前に登録しておけば、上記の「くらしの素」の「今日の予定」欄に掲載され、自動的に随時更新されます。 |
| 「街とくらしのお知らせ」: | 自治会、教育機関、医院、商店など地域情報を提供する参加団体が情報発信を行います。団体からの最新情報は「くらしの素」の「新着情報」欄に掲載され、自動的に随時更新されます。 |

「街の案内版」： 夏祭りなど地域イベントをお知らせする「街の活動カレンダー」、コミュニティホールの予約状況など参加団体の施設予約状況を確認できる「街の予約ボード」、最寄駅や公的施設・公的機関の連絡先一覧を案内する「街の便利帳」などの情報を提供します。

他にも、より住みやすく、暮らしを豊かにするための情報を投稿してもらう「くらしの窓」や地域のお天気情報・洗濯指数を掲載する「街のお天気」などを発信していきます。

「ライフサポートシステム」は利用者が参加団体の掲載する様々な新鮮な地域情報を毎日受け取り、日々の生活で活用していただく受け皿となるものです。

また、「ライフサポートシステム」に参加する団体(学校、企業など)に対しては、参加団体自らがデザイン性の溢れるページ作成ができ最新情報に簡単に更新できる使い勝手の良いシステムを提供いたします。情報の配信先も一般公開、本システムの会員限定、参加団体が特定した人専用など配信内容によって自由に設定できる仕組みとなっています。

尚、本システムへの参加基準については、「街を住みやすくしていく」という理念のもとNPO法人がその判断をしていきます。現時点では地元自治会、スーパー、医院、自動車販売店、幼稚園などの参加を予定しています。

東急不動産は日立製作所が開発したポータブルなタッチパネル式のインターネット端末を、当エリアにて東急不動産が供給する建売住宅に標準装備していきます。

また、当エリアはCATVによるインターネット接続環境が整備されており、パソコン保有率も高いことから、既にお住まいの約6,700世帯に対しても本システムの利用を呼びかけ、早期普及を図ってまいります。当初1年間は試行期間として全て無料にて普及啓蒙活動を行なっていく考えです。

【ライフサポートシステムにおける目的と意図】

■ 東急不動産(株)

郊外住宅への需要に陰りが見える中で、「あすみが丘エリア」の開発については、これまでの「家」というハード面だけでなく、「くらし」というソフト面の充実により街全体の魅力を高めていくことで需要喚起に繋げていくことを考えています。

地元のNPO法人「すこやかネットみどり」の“街を住みやすくしていく”活動に支援・協力し、日常生活への浸透が進むインターネットを媒介として新しい街での「くらし」を支援するシステムとして「ライフサポートシステム」を共同で展開、住民と手を携えた街づくりを推進していきます。

■ (株)日立製作所

ユビキタスネットワーク時代に対応した情報機器を本地域サービスに適用することで、今後のブロードバンド時代のIT機器として機能強化を図るとともに、地域のコミュニティを支える情報インフラを提供する事を目指し、本コミュニティタウンに対し、東急不動産を支援していきます。

以上

お問い合わせ先は

東急不動産株式会社 経営企画部 広報グループ 内田・林 TEL 03-5458-0620	株式会社日立製作所 1ビキタスプラットフォームグループ 広報渉外部 内山 TEL 03-3506-1573
東急不動産株式会社 地域事業部 鮫島・吉本 TEL 03-5458-0687	株式会社日立製作所 1ビキタスプラットフォームグループ マーケティング部 赤羽 TEL 03-5471-2942

別紙

【あすみが丘エリア】

1.「あすみが丘」地区

土地区画整理事業による民間では最大規模の住宅地開発。東急不動産が昭和61年より戸建分譲を開始。今では、約6,700世帯が暮らすビッグコミュニティー。

- 所在地：千葉市緑区あすみが丘
- 開発面積：約313ha
- 総区画数：約9,560(内東急不動産分 約4,200)

2.「あすみが丘東」地区

「あすみが丘」地区と千葉県内でも有数の総合公園「昭和の森」に囲まれ、教育・医療・商業など充実し生活基盤と豊富な自然環境に恵まれた良好な住宅団地。昨秋より第一期供給開始。

- 事業名称：千葉都市計画事業土気東土地区画整理事業
- 事業主体：土気東土地区画整理組合(業務代行者：東急不動産株式会社)
- 所在地：千葉県千葉市緑区土気町および小食土町
- 総面積：85ha
- 計画戸数：約2,320戸(うち東急不動産分約1,400戸)

【各社概要】

東急不動産株式会社

- 所在地：東京都渋谷区道玄坂1-21-2新南平台東急ビル
- 設立：1953年12月
- 資本金：321億円(2002年3月31日現在)
- 代表者：代表取締役社長 植木 正威
- 従業員数：536名(2002年3月31日現在)
- 業務内容：不動産販売業、不動産賃貸業、施設運営業、資産活用事業

株式会社日立製作所

- 所在地：東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
- 設立：1920年2月(創業：1910年)
- 資本金：2,820億円(2002年3月31日現在)
- 代表取締役取締役社長：庄山 悦彦
- 従業員数：48,590名(2002年3月31日現在)
- 事業分野：情報通信システム、電子デバイス、電力・産業システム、デジタルメディア

以上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
